

種名	<p>ト _____ キ</p> <p><u>Nipponia nippon</u></p> 													
分類	コウノトリ目 トキ科													
特徴	<p>朱色の顔と脚、湾曲した黒く長いくちばしを持った水鳥。かつては各地に分布し、繁殖していたらしいが、急激に数が減り、1934年に天然記念物に指定されたものの絶滅、1981年に人工増殖を目的として收容されたが、野生トキはなくなってしまった。特別天然記念物。種としての絶滅が憂慮され、国際保護に指定されている。</p>													
生活	<p>湿地で生活し、最後まで残った棲息地では、いずれも山間の水田を餌場としていた。長いくちばしを水中や泥中に突き刺し、小動物を捕まる。営巣は丘陵地の樹上で行い、小枝やつるで粗雑な皿形の巣を作る。産卵期は4～5月。卵数は2～3個である。繁殖期には羽毛が黒ずむが、これは顔の皮膚から分泌される黒い色素を羽になすりつけるためであることが確かめられている。</p>													
声	<p>現在ではこの鳥の声を日本の自然の中で聞くことはできないが、「クワックワックワツ」という柔らかみのある声で鳴く。飛翔中の群れは「カッカツ」と小声で鳴きかわすところがある。また、佐渡島で飼育中のトキは個体や時期によって鳴き声が少し違うという。</p>													
見分け方	<p>日本には禽舎に收容されたものしかない。</p> <p>2008年9月に佐渡トキ保護センターで放鳥を開始し、2019年8月26日時点では、野生のトキの推定個体数が404羽と発表されています。</p>													
時期	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(月)</td> <td>—</td> </tr> </table>	(月)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(月)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
その他	全長(L)76cm 翼開長(W)133cm													
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥														